

可祝の柳

長唄

全詞章

堀野文禄 作

資料の題名「新曲 かしくの柳」

〔本調子〕 夫れ青陽の春の晨、千里も同じ

天津風

雲井に舞へる乙女子の、姿をここに三つの糸

引くや霞の細眉に、緑の髪や

白妙の、雪の肌に

ほんのりと、誰が無理言ふた酒起源

迦陵頻伽の声清く

霓裳羽衣の曲の袖、翳す扇の

ひらひらと

花か胡蝶か胡蝶か花か

夢か現と見む人の、いつか触れけむ輪柳の、解けてめでたく候かしく